

がん難民救済の方策 —私はこう考える



癌研有明病院
メディカルディレクター
武藤徹一郎



国は何を考えているか？

厚労省：がん対策基本法

文科省：がんプロフェッショナル養成

がん対策基本法

◎ 基本的政策

- 1.がん検診
- 2.がん拠点病院・均てん化
- 3.がん専門医養成
- 4.相談支援センター
- 5.緩和ケア
- 6.がん情報サービス
- 7.がん登録
- 8.研究推進

政府におけるがん対策の主なあゆみ

- ・ 昭和37年 国立がんセンター 設置
- ・ 昭和56年 悪性新生物が死亡原因の第1位となる
- ・ 昭和59年 対がん10ヵ年総合戦略（～平成5年）
- ・ 平成6年 がん克服新10ヶ年戦略（～平成15年）
- ・ 平成17年5月 がん対策推進本部 設置（厚生労働省）
- ・ 平成18年4月 がん対策推進室 設置（厚生労働省健康局）
- ・ 平成18年6月 がん対策基本法 成立
- ・ 平成19年4月 がん対策基本法 施行
がん対策推進協議会 設置
- ・ 平成19年6月 がん対策推進基本計画 策定（閣議決定）

平成19年

- ・ 4月5日 第1回がん対策推進協議会
- ・ 4月17日 第2回がん対策推進協議会
- ・ 5月7日 第3回がん対策推進協議会
(5月7日～21日 一般からの意見募集)
- ・ 5月18日 第4回がん対策推進協議会
- ・ 5月30日 第5回がん対策推進協議会
- ・ 6月16日 がん対策推進基本計画 閣議決定・国会報告
- ・ 年度内 都道府県がん対策推進計画策定(予定)

平成20年

- ・ 4月 医療計画等 開始
(都道府県がん対策推進計画 開始)

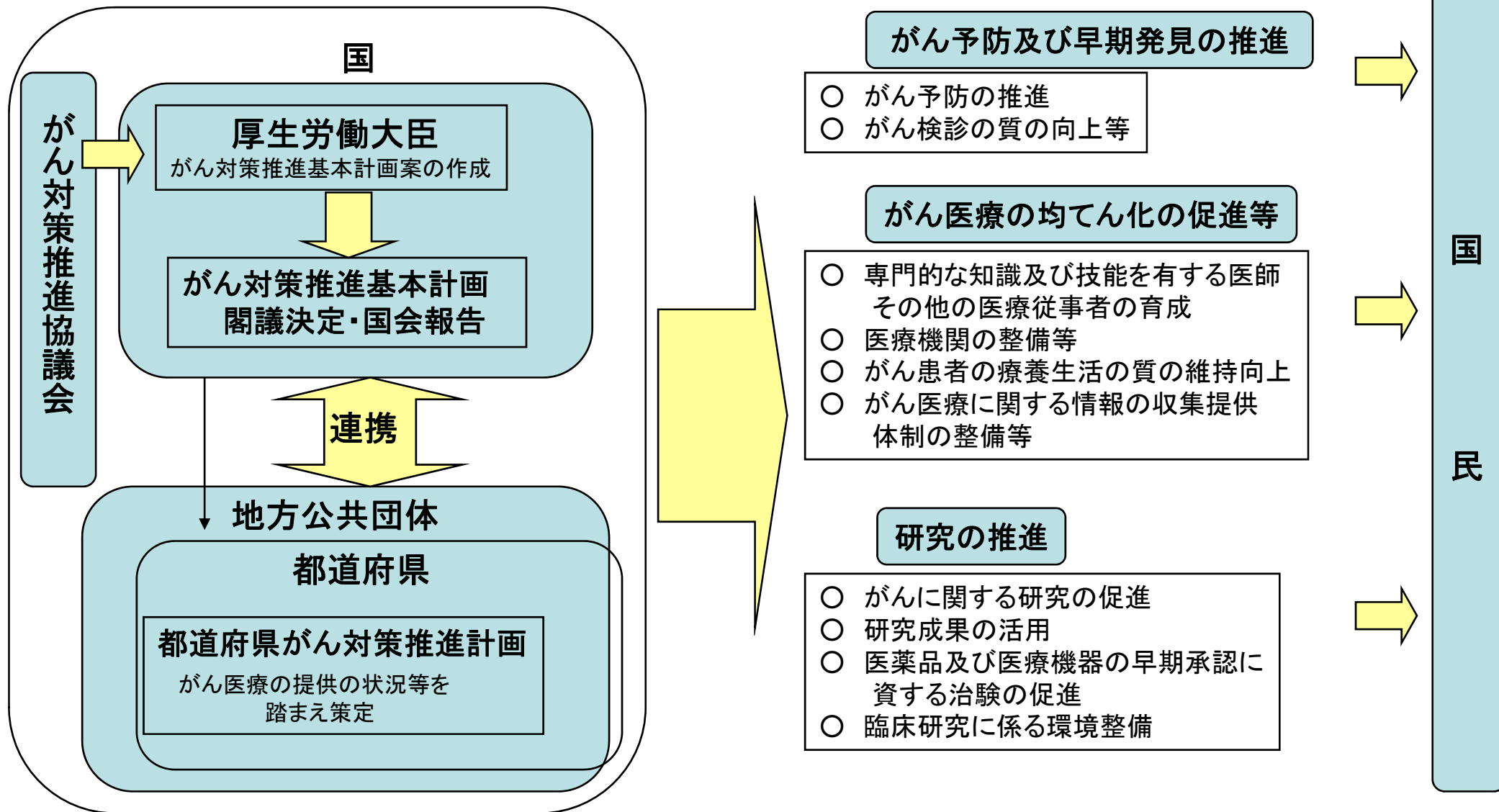
がん対策基本法 がん対策推進基本計画 の特色

- ・患者さん・患者会が機動力になってできた法律
- ・立法府では超党派でできた法律
- ・厚労大臣が関係行政機関の長と協議し、閣議決定して決められる基本計画
- ・多くの患者、患者会代表が委員として参加した協議会で策定された基本計画

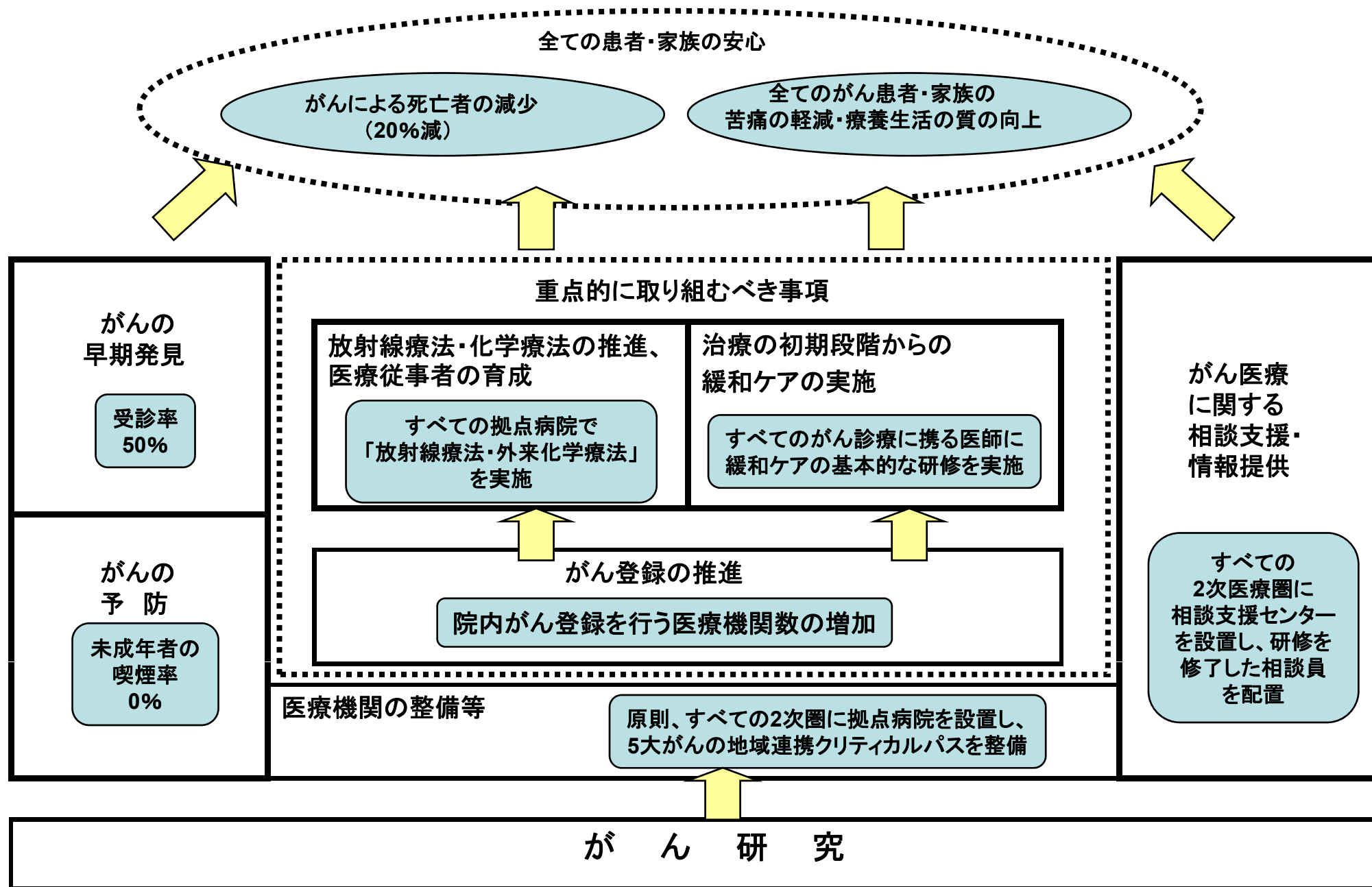
がん対策推進協議会委員：医師(9)、患者会(5)、行政(2)、メディア(1)、看護協会(1)

がん対策基本法

がん対策を総合的かつ計画的に推進



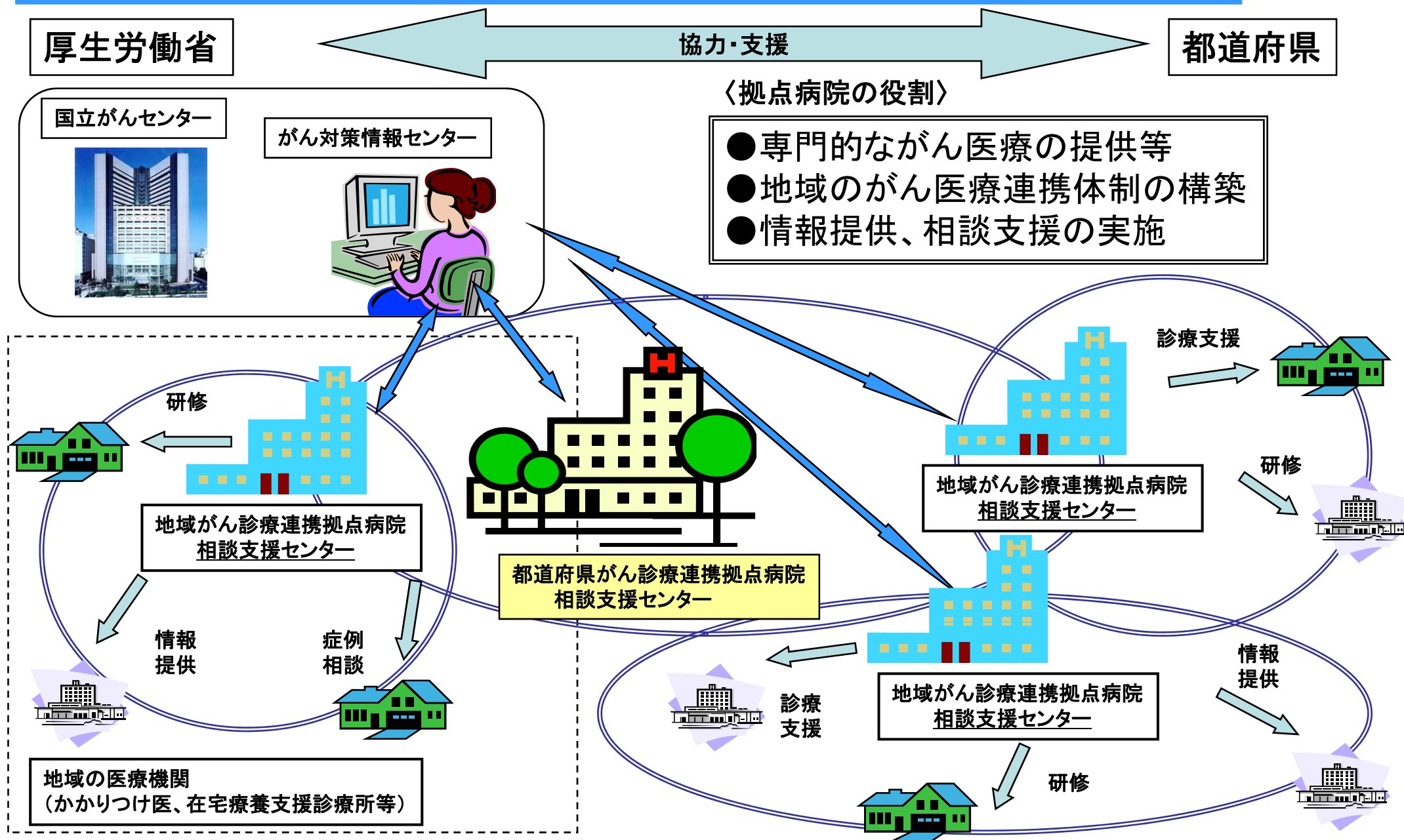
がん対策推進基本計画



がん診療連携拠点病院制度 47都道府県（286カ所） ※H19年1月末現在

47都道府県（286カ所）

※H19年1月末現在



がんプロフェッショナル養成プラン（文科省）

1. 医師のための「腫瘍専門医師養成コース」

高い臨床能力と研究能力を併せ持った臨床医を養成するために、大学院博士課程4年間の間にがん臨床とがん研究との教育指導の両者をバランスよく按分することによって、効率的な環境下（充実した教育指導と高度な機器の整備等で）学位の取得とともに腫瘍専門医師の養成を目指す。

2. コメディカルのための「がん医療に携わる職業人養成コース」

看護師、薬剤師、放射線技師等の基礎資格を有し、一定期間実務を経験した者に対し、がん医療に特化した実践型教育を行うことにより、効率的な環境下（充実した教育指導と高度な機器の整備等）で学位の取得とともにがんチーム医療に積極的に貢献できる高度職業人の養成を目指す。

3. 医師のための「がん専門的インテンシブコース」

各診療科の基盤学会の認定医あるいは専門医（例：内科認定医、外科専門医等）を取得した医師を対象とし、がんの診断・治療・研究に必要な高度先進的な知識と技術の取得を目指す。

主な選択要件

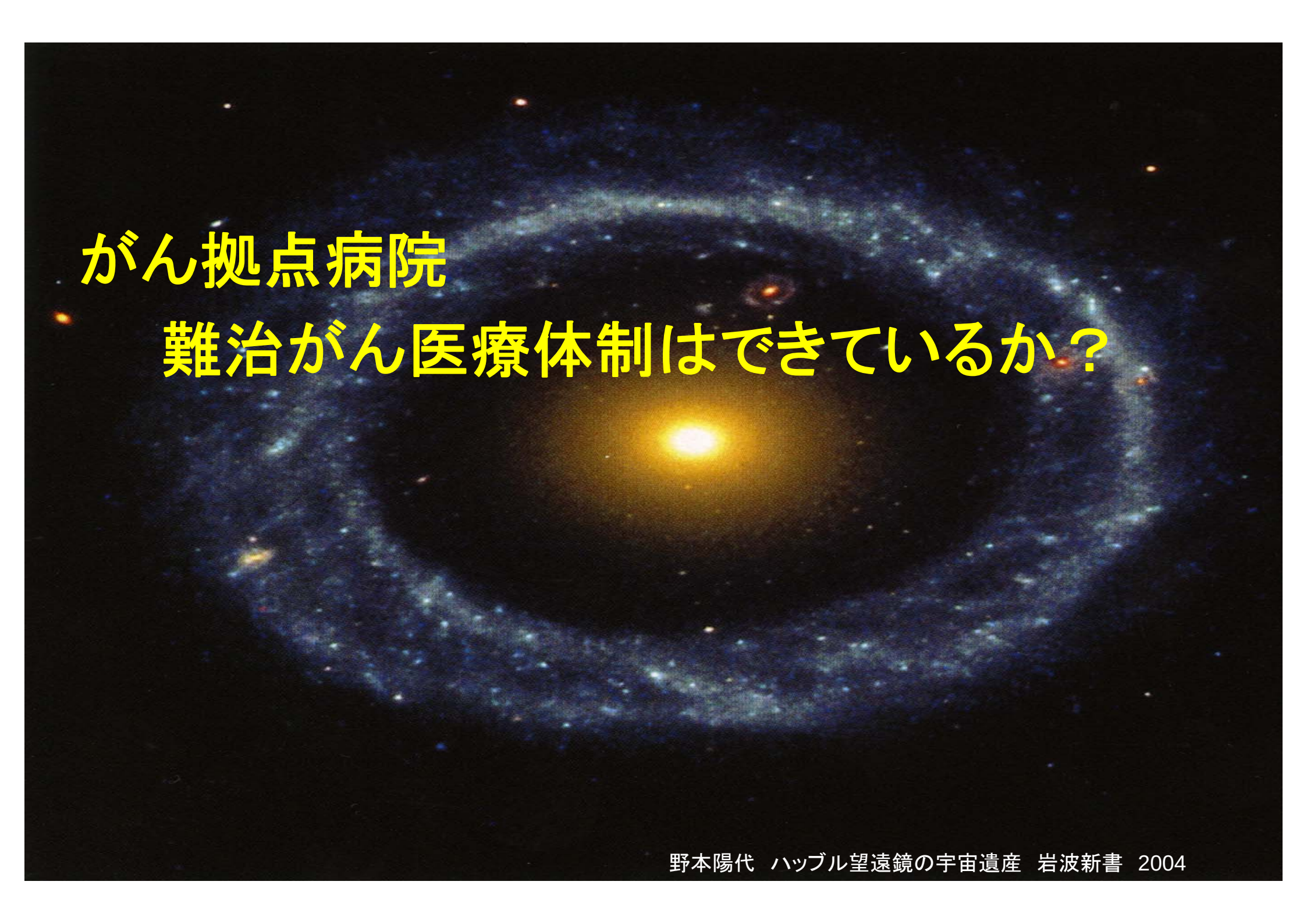
- 化学療法・緩和ケア・がん登録
- 広域化
 - ― 県域を越えて複数大学・拠点病院等が連携
- 医師・薬剤師・看護師・放射線技師等を対象
- 院内体制の整備
 - ― 「がんセンター」・キャンサーボード等の設置

●選択事業数

- 全国で18事業(合計88大学)を採択

●参画状況

- 医学部を置く79大学中68大学が参画
- 専門看護師養成は全ての事業で実施
(40大学が参画)
- 専門薬剤師養成は16事業で実施
- 医学物理士・放射線治療品質管理士
は17事業で実施



がん拠点病院

難治がん医療体制はできているか？

3種類の“がん”がある

1.どこでも治せる“がん”

2.医師・病院によって予後が違ふ“がん”

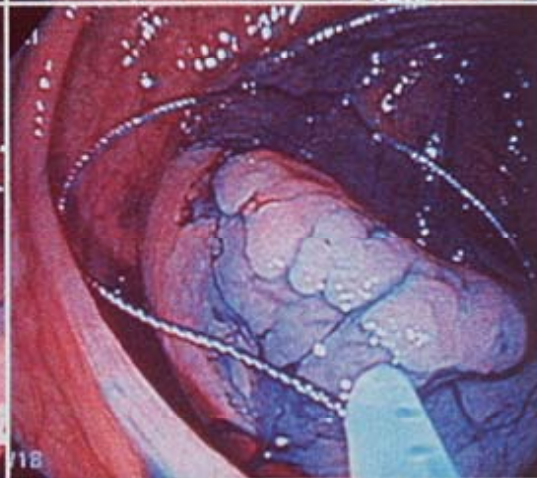
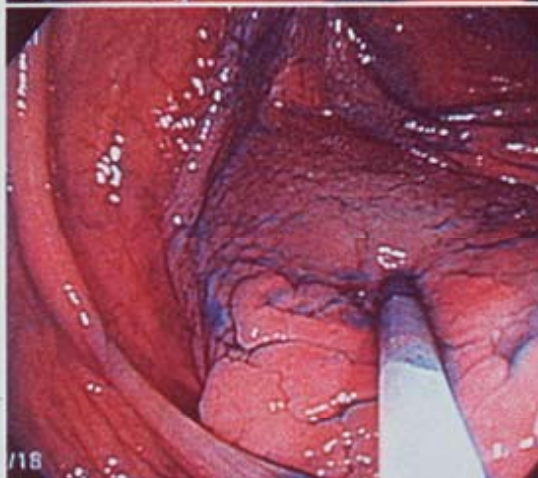
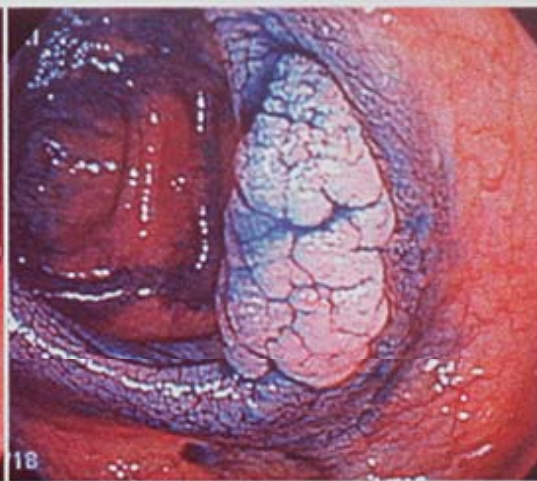
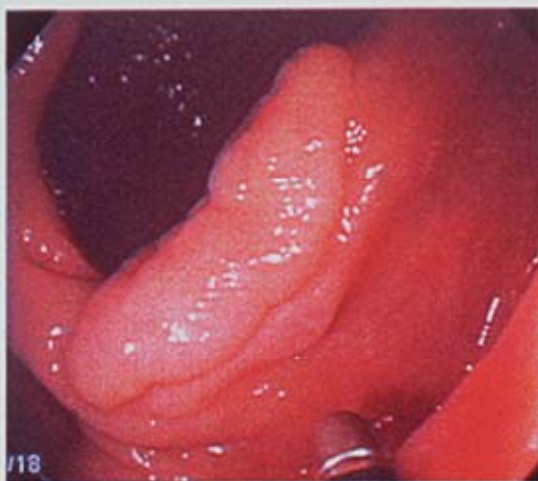
3.現代の医療では誰もどこでも治せない“がん”
＝難治がん

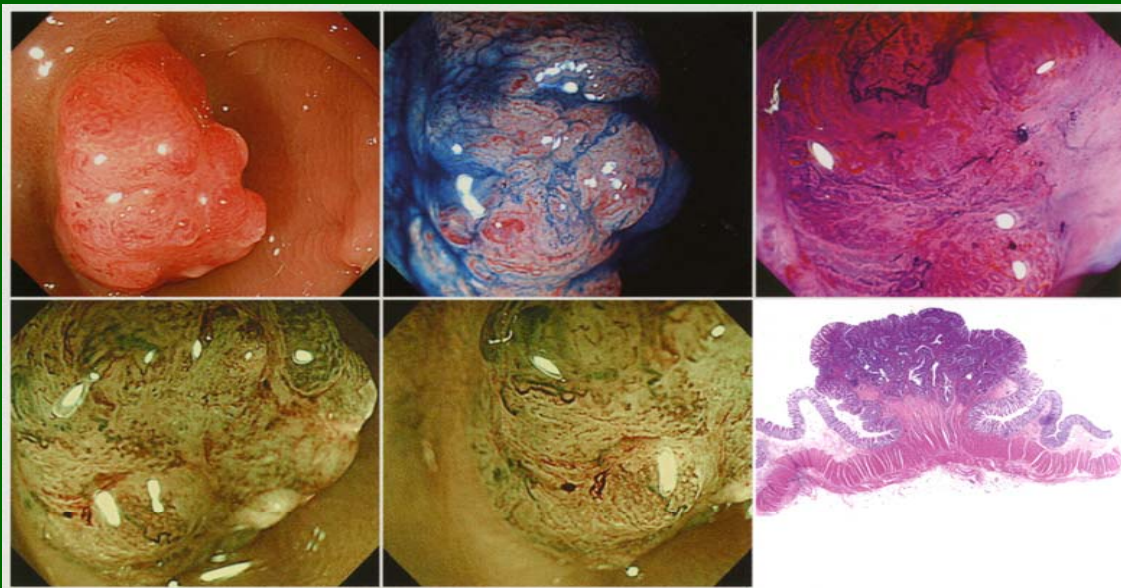
どこでも治せる“がん”

胃・大腸早期癌
初期乳癌・子宮癌など

健・検診が必須
内視鏡専門医

合併症→外科医





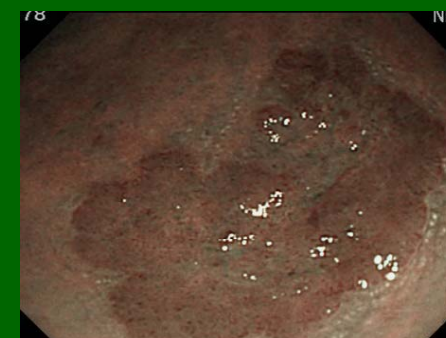
78 years old male



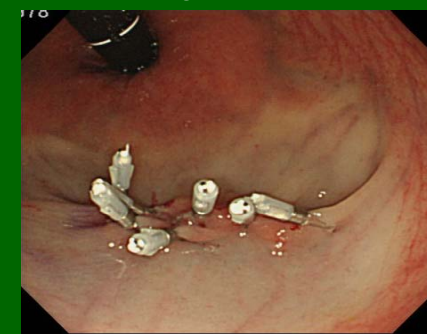
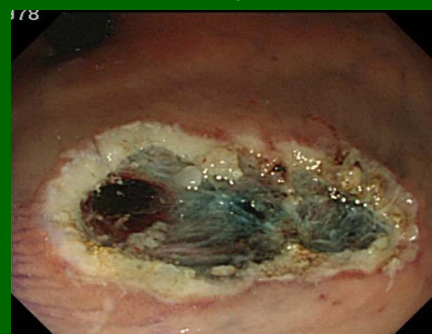
Ordinary view



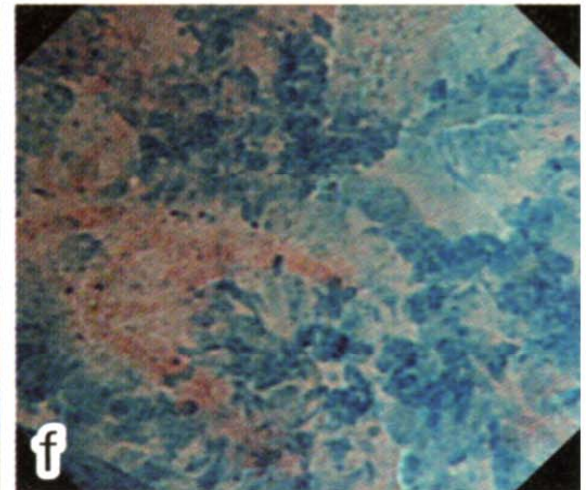
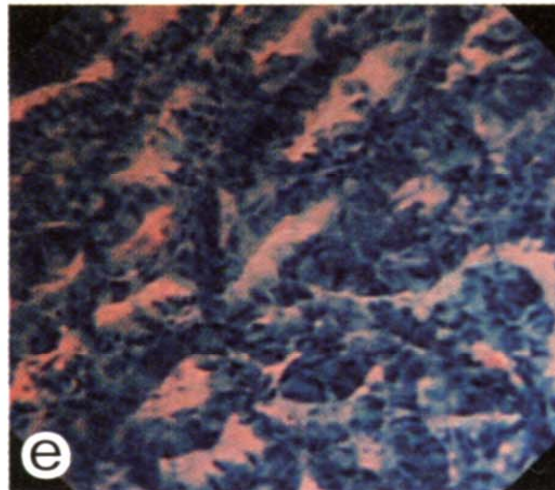
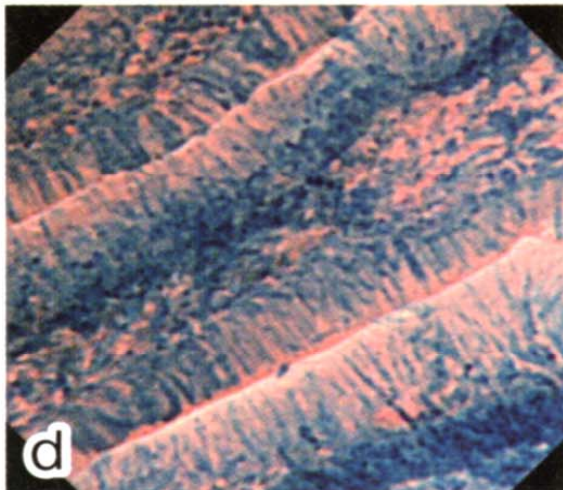
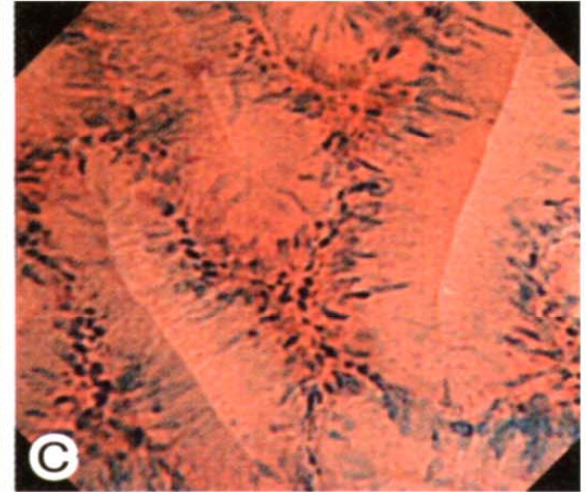
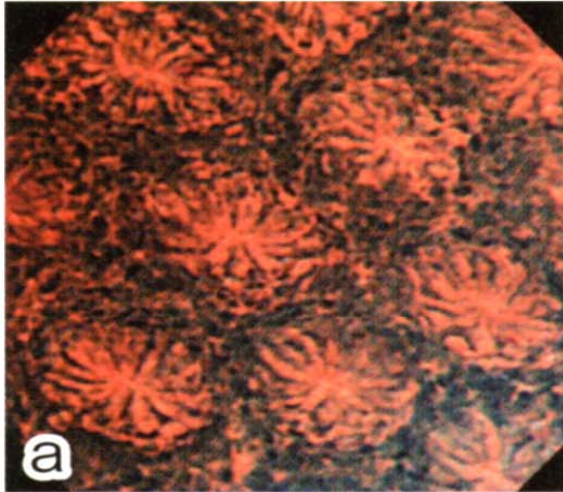
After indigocarmine view



NBI view



Rectum 25mm in size tubular adenoma(severe atypia)



医師・病院によって予後が違う“がん”

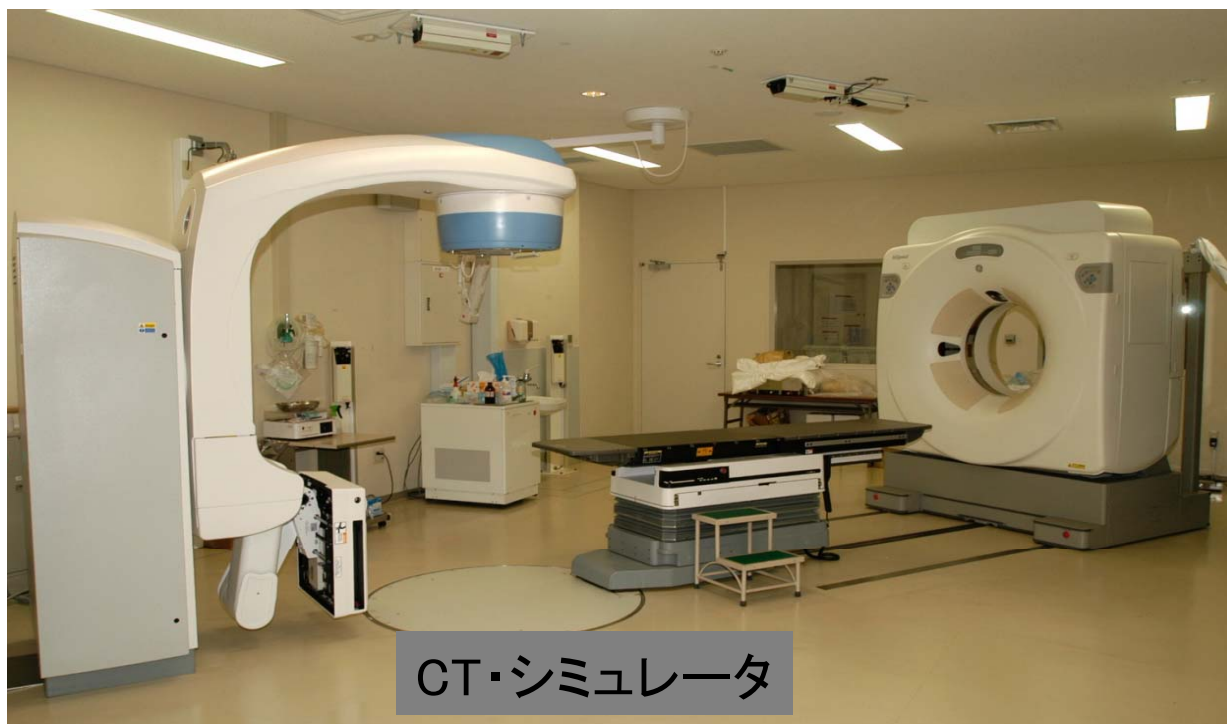
腫瘍外科医の腕、専門医
設備の有無

PET, IMRT, γ -ナイフ, 重粒子・陽子線

腫瘍内科医の有無

放射線治療医の有無

肝臓癌、食道癌、直腸癌など



CT・シミュレータ



透視付きリニアック

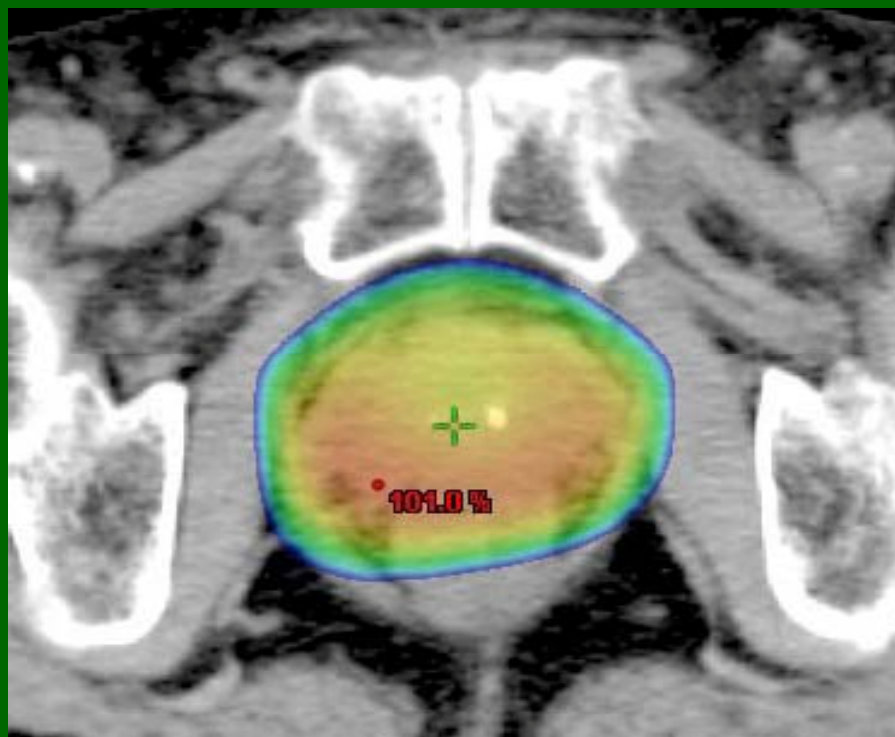


標準リニアック

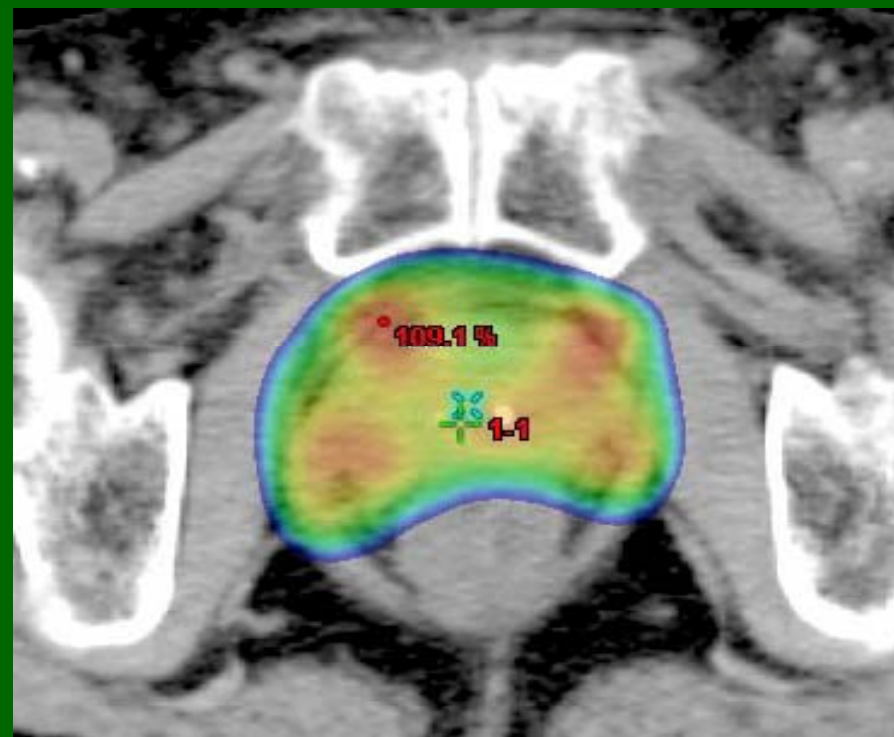


CT同室リニアック

IMRT 線量分布の違い



3次元放射線治療



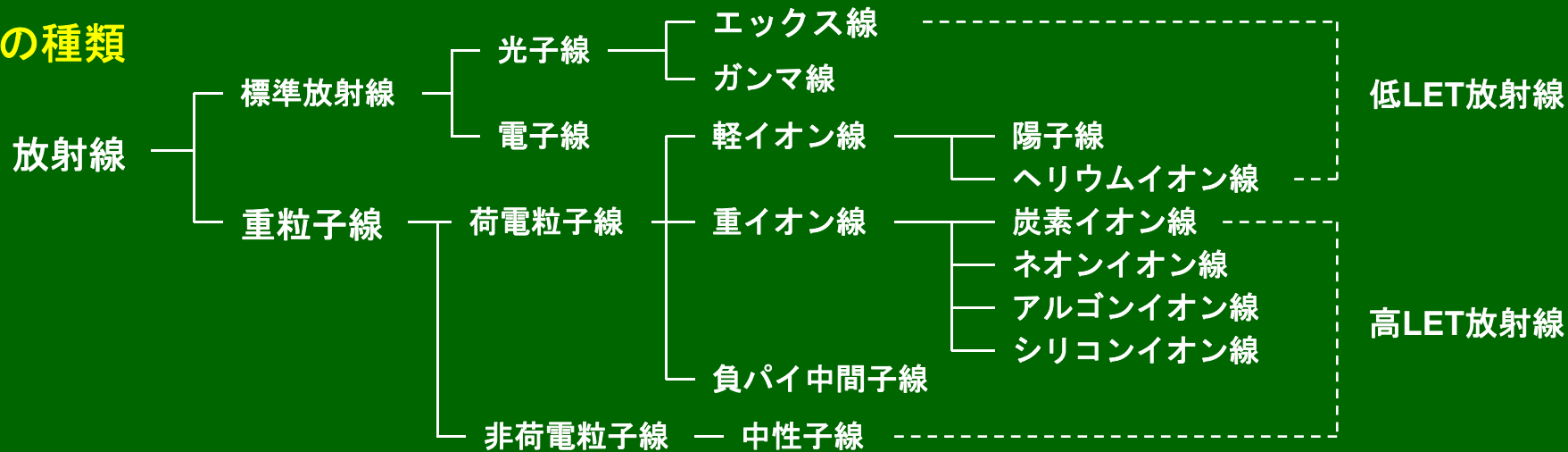
IMRT

放射線治療のスタッフ・設備の比較

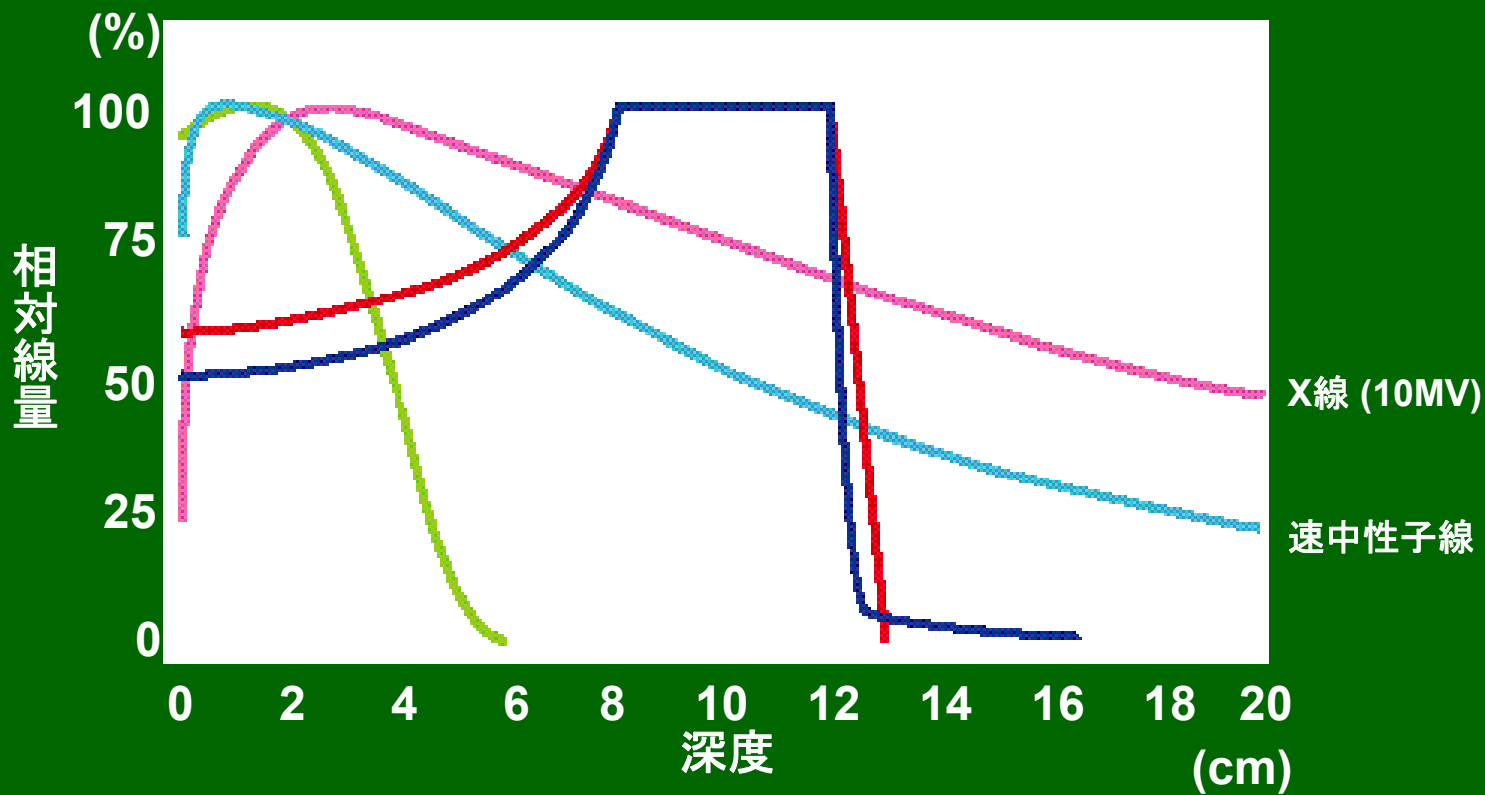
(人口100万人当り)

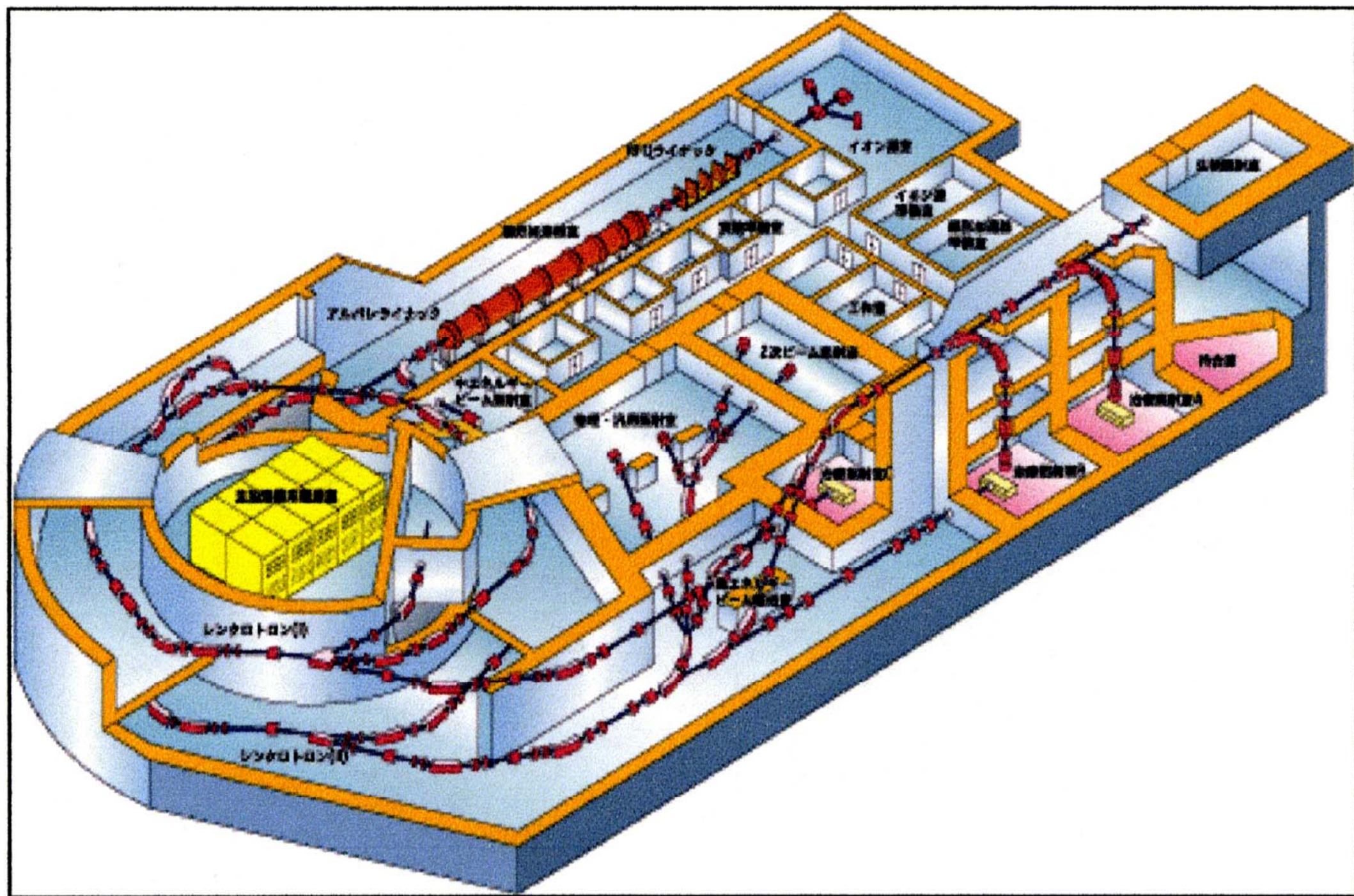
国名	放射線 腫瘍医	放射線 技師	物理士	治療 施設	リニアック
日本	3.1	11.3	0.3	4.7	4.9
米国	15.6	33.3	9.1	7.4	11.9
英国	8.3	28.5	8.1	1	3.2
ドイツ	7.3	47.3	5.8	2.6	3.7
オランダ	9.2	48.5	3.9	1.2	5.8
中国	3.9	1.9	0.5	0.6	0.8
韓国	2.7	5.5	0.7	1.5	1.8

放射線の種類

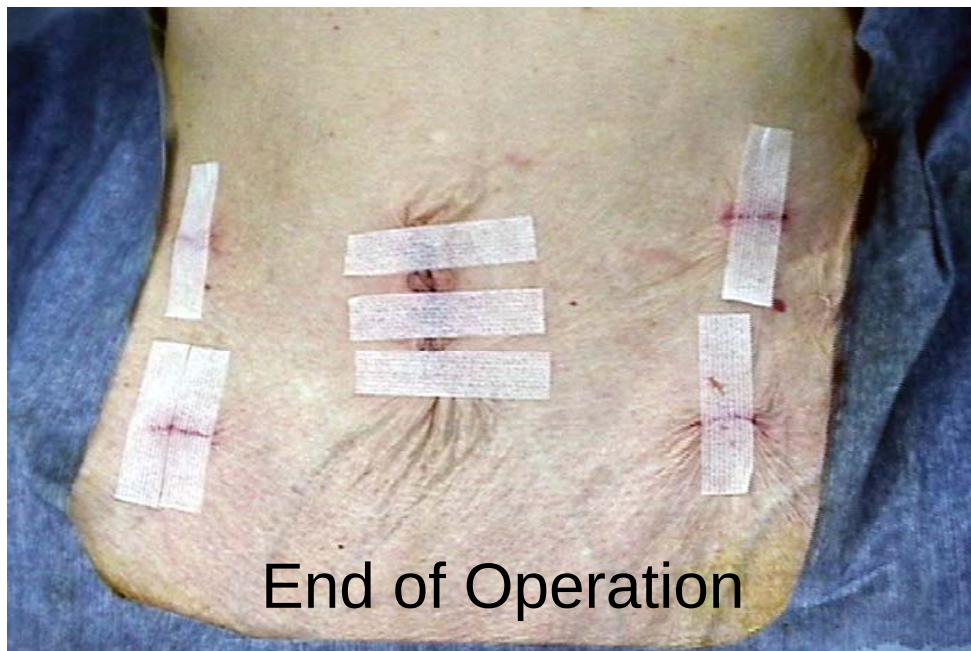
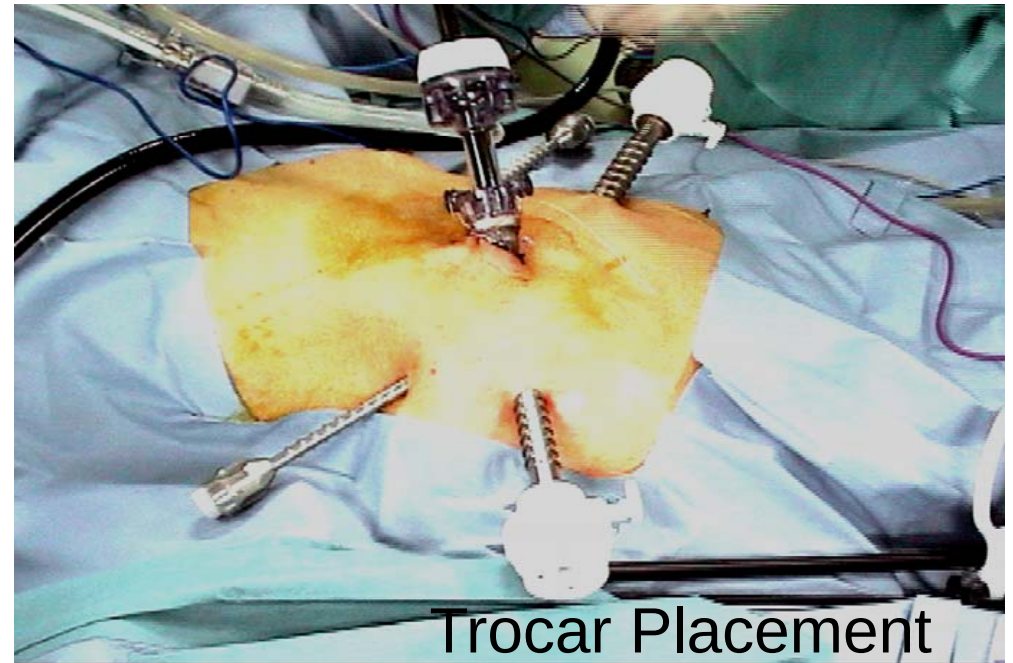
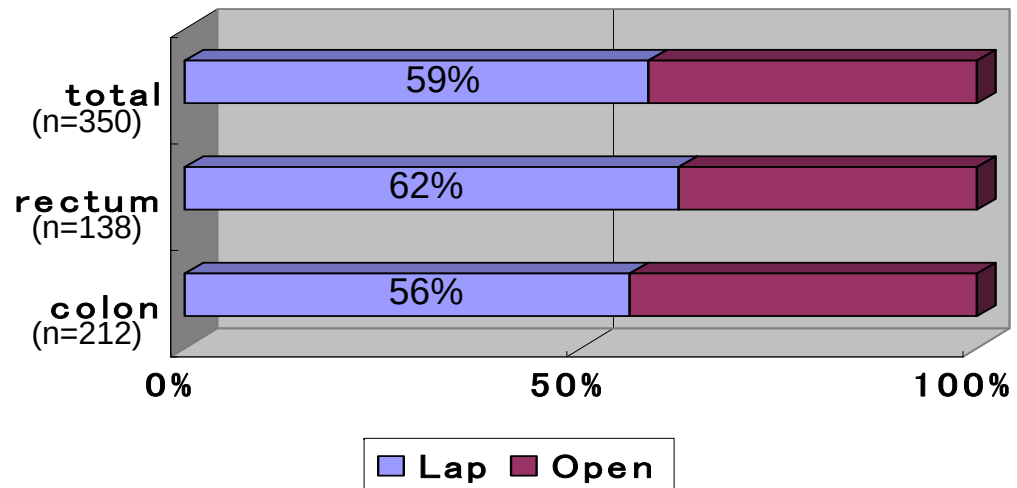


各種放射線の線量分布





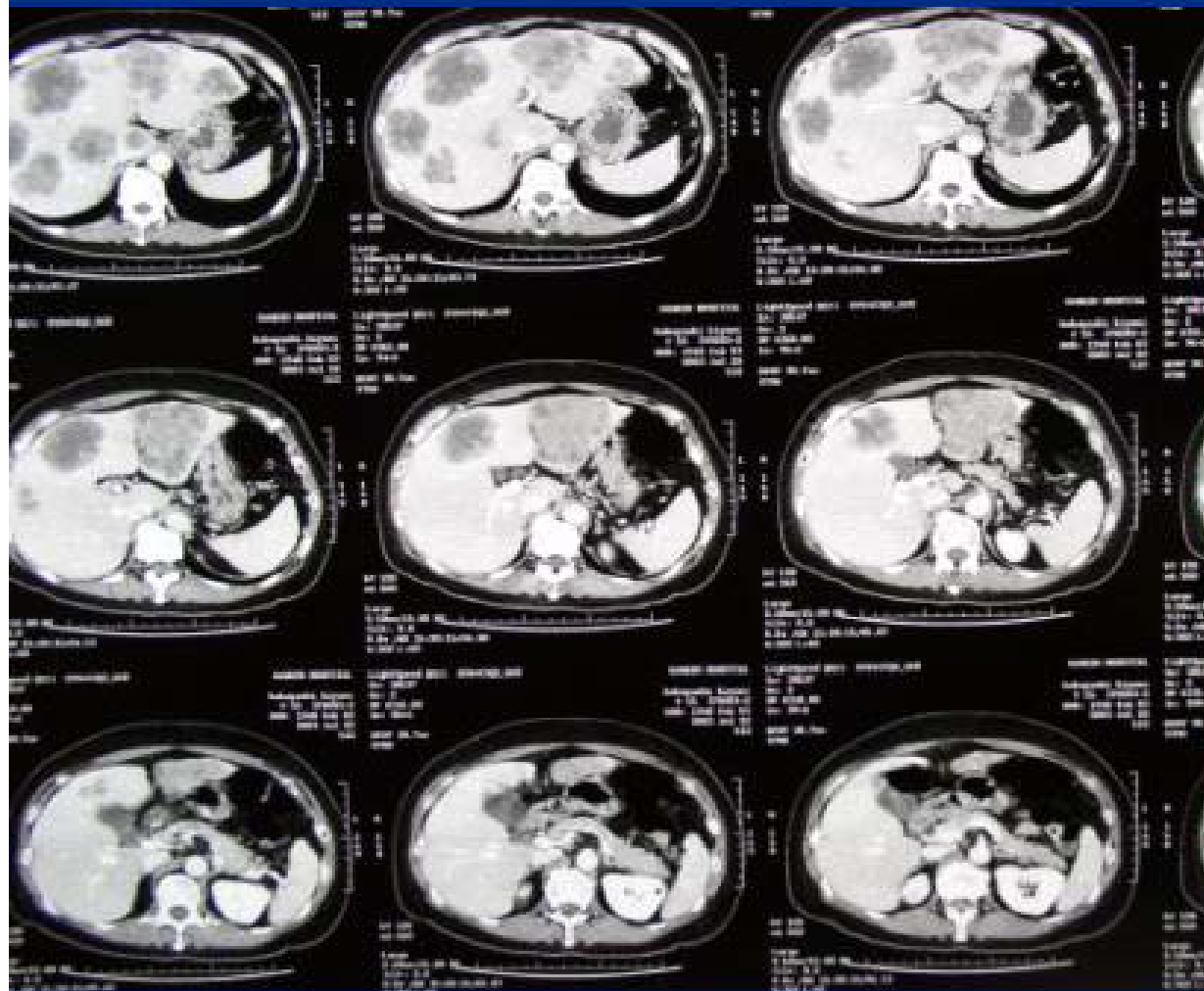
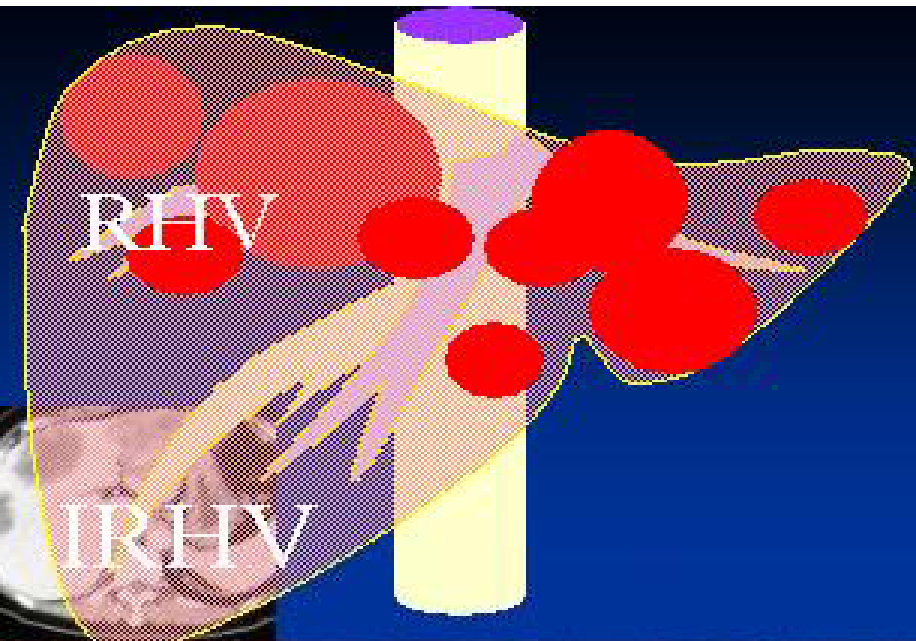
**Laparoscopic Colorectal Cancer Surgery in
2006
In Cancer Institute Hospital**



症例2

62歳女性

直腸癌同時性肝転移(9個)



左3区域切除

出血量 1082ml

誰もどこでも治せない“がん”

高度進行がん、再発がん
膵がん、一部の肺がん
320.000人(2006)

腫瘍内科医、放射線治療医
抗体・免疫療法
緩和ケアー

がん難民を発生させない

難治がん医療の問題点

専門医不足

専門病院不足

情報不足

緩和ケア施設不足

個々の医師・病院で対応できている所はあるが、チームとしての治療体制、ネットワークがない。

癌研有明病院の取り組み

- 臓器別チーム医療
- がん総合治療部門：化療、放治、免疫・遺伝子
- Cancer Board、Tumor Board
- 外来化学療法(ATC)
- 緩和ケア
- 難治がんへの挑戦—難治がんプロジェクト

癌研究会のあゆみ

- 1908年 癌研究会創設(わが国初のがん専門機関)
- 1934年 大塚に癌研究所・附属病院開設
- 1946年 附属病院を京橋区木挽町にて再興開院
- 1963年 近代的な設備の新病院が完成
- 1966年 癌研究所竣工
- 1968年 総合病院として承認
- 1973年 癌化学療法センター開設
- 1977年 附属病院南棟竣工
- 1990年 胃がん治療10,000例
- 1994年 研究所・附属病院開設60周年記念式典
- 1995年 比較腫瘍学常陸宮賞を創設
- 1998年 癌研究会創立90周年
- 1999年 臨海副都心「有明の丘」への移転計画を発表
- 2003年 癌研究会創立95周年記念式典を開催
- 2005年 臨海副都心「有明の丘」への全面移転



癌研有明病院の外観

癌研病院 Mission, Core Values, Vision

使命 (Mission)

がん克服をもって人類の福祉に貢献する

共有する価値観 (Core Values)

創造 高質 親切 協調

将来展望 (Vision)

がん診療において世界に誇る病院となる

病院の基本方針

1. 新しいがん医療の**創造**に努めます。
2. 安全かつ**質の高い**がん医療を提供します。
3. 患者さん中心の**親切**ながん医療を行います。
4. 臓器別診療に基づく**チーム医療**を実践します。
5. 人間性豊かな医療人の**育成**に努めます。

新病院のコンセプト構築

1) 高度先進医療

2) 難治がんへの挑戦

- 臓器別診療体制
- センター化
- 患者中心のチーム医療の推進
- 病病、病診連携の推進

3) 国際化への対応

難治がんへの挑戦

臓器別診療体制

センター化：消化器センター、呼吸器センター、
レディースセンター、外来治療セン
ター、医療支援センター etc.

癌総合治療部門：化療、放治、免疫・遺伝子

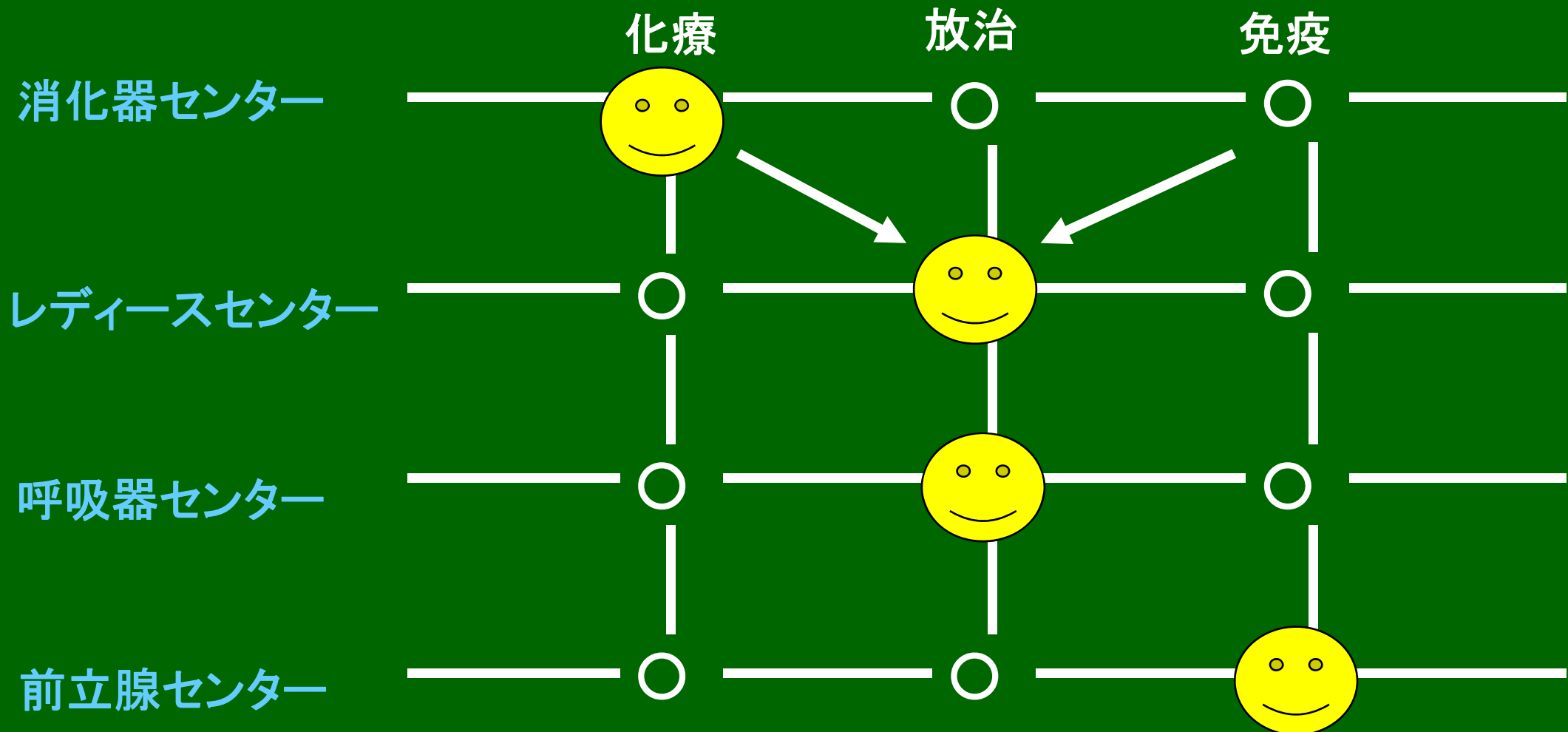
緩和ケア：病-病、病-診連携

Multidisciplinary Approach (集学的医療)

- 腫瘍外科
- 腫瘍内科(化学療法専門医)
- 放射線治療医
- 看護師
- 病理医
- 薬剤師
- 栄養士 etc

臓器別チーム医療

癌総合治療部門



テューマー・ボードの組織図

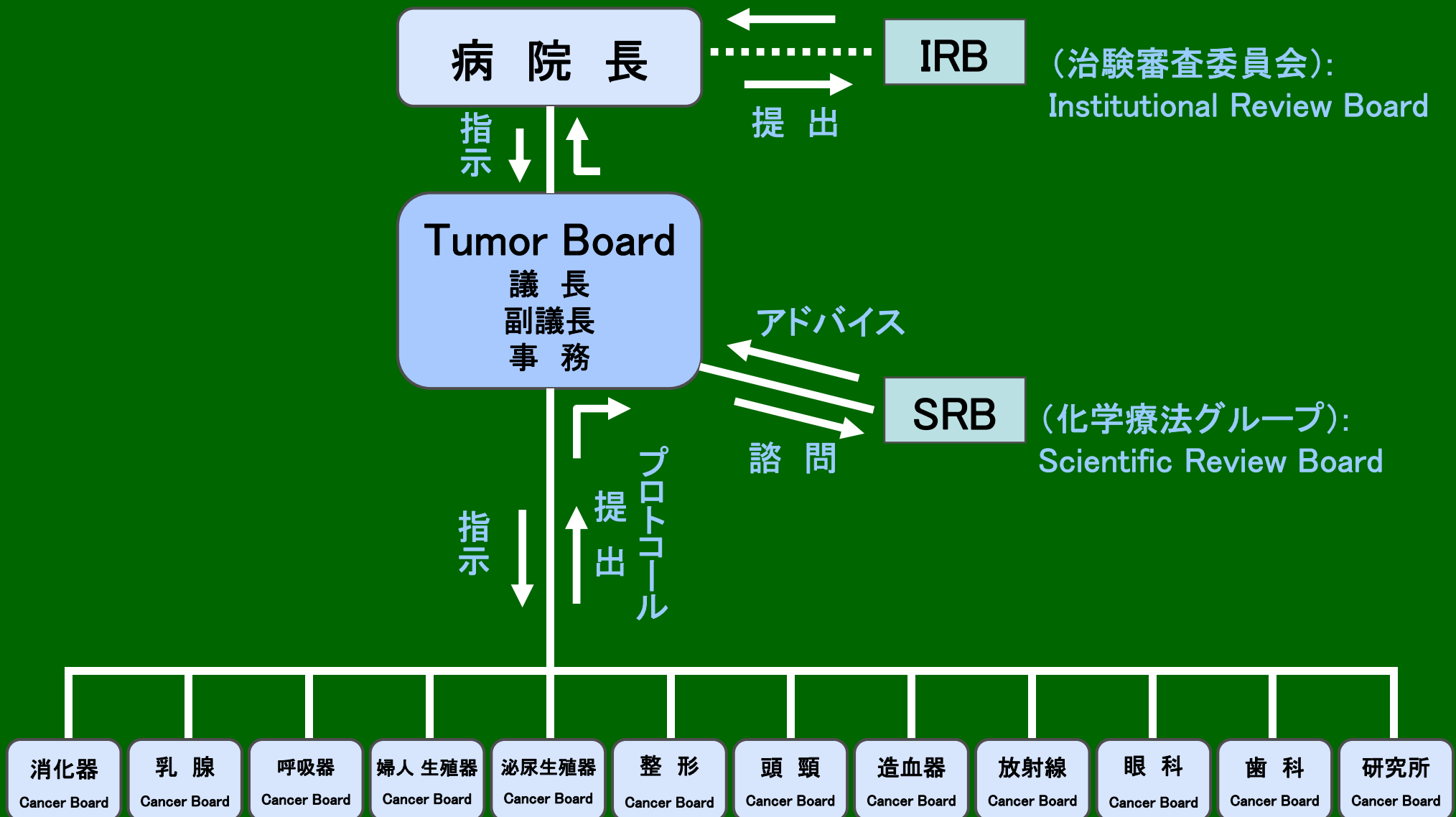


表 1 Cancer Board の役割

1. 治療方針の決定が困難な症例の検討
2. 標準的でない治療を行おうとする症例の検討
3. 治験, 臨床試験のプロトコール承認
4. その他





難治がんプロジェクト

1) 対象

狭義：膵がん、食道がん、肺がん

広義：再発がん

多発転移進行がん（初診時）

原発不明がん

化療抵抗がん

“がん難民”の救済

2) 戦略

a) 現在ある術で対応（即応型）

b) 新たなプロジェクト（中長期型）

a) : ベストサポート、治療班の組織化

Outcomeの広報

HPでの情報提供

b) : 新規プロジェクトの立案

プロジェクトチーム（各科）

難 治 が ん プ ロ ジ ェ ク ト

	プロジェクトリーダー
膵臓がんプロジェクト	猪狩（消化器センター）
食道がんプロジェクト	瀬戸（消化器センター）
進行がんー胃ープロジェクト	陳（消化器センター）
肝転移プロジェクト	山本（消化器センター）
肺転移プロジェクト	佐藤（呼吸器センター）
骨転移プロジェクト	真鍋（整形外科）
原発不明がんプロジェクト	高橋（化学療法科）
緩和医療プロジェクト	向山（緩和ケア科）
後方支援プロジェクト	唐渡（医療支援センター）
リンパ浮腫プロジェクト	唐渡（医療支援センター）
ベスト・ケアプロジェクト	向山（緩和ケア科）

医療支援センター、 緩和ケアー、病-病・診連携

難治がんの診療を積極的に行う

医療連携室

在宅看護室

医療相談室

医療支援室

開放病床

ねんけい君 (ver2)

2007

“ We are not alone.”

改正のポイント

介護保険申請の励行

病院リスト・内容の拡充

特に緩和医療に定評ある医療機関リスト

がん診療連携拠点病院一覧作成

がん診療連携拠点病院

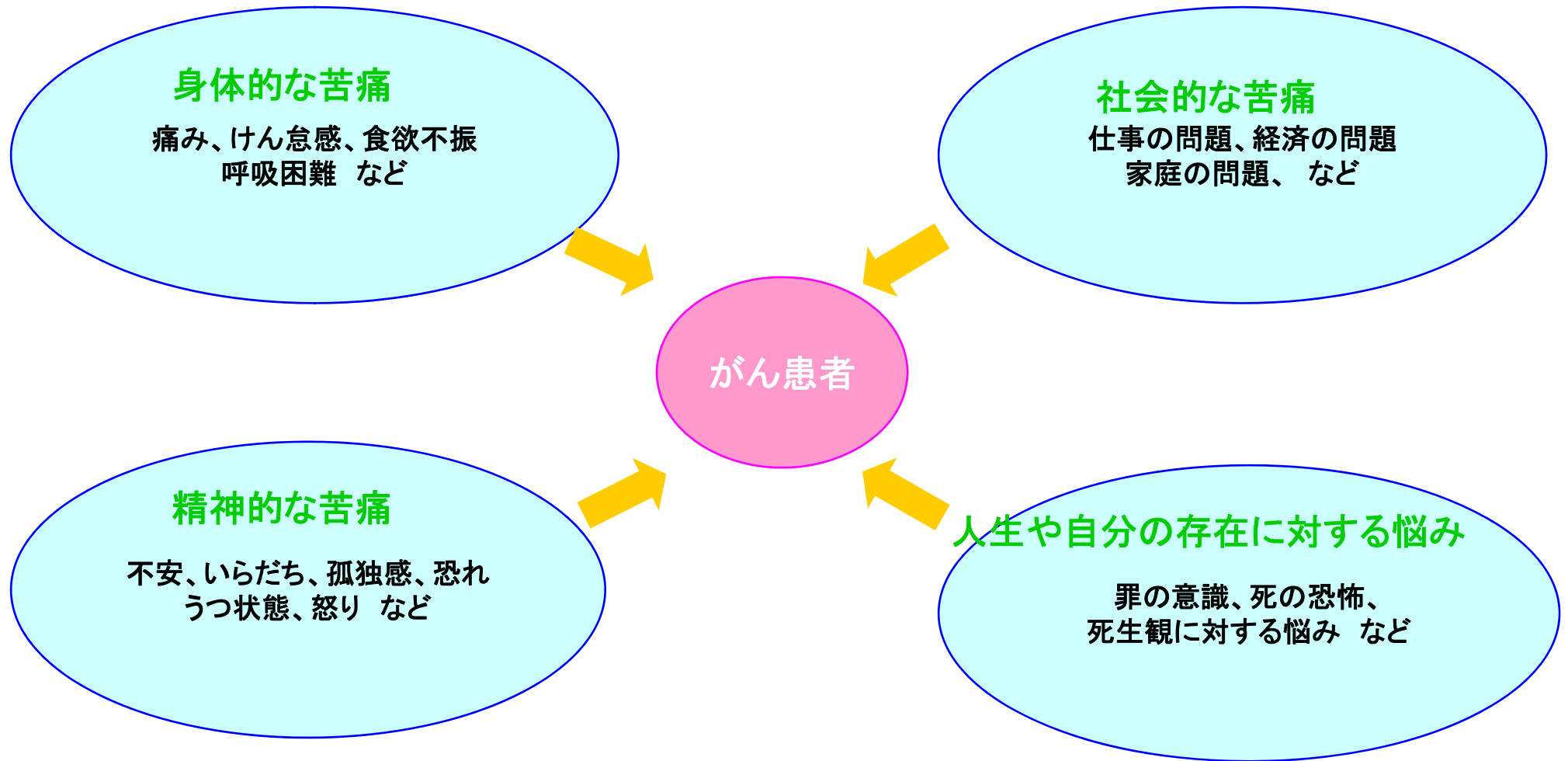
癌研有明病院

「ねんけい君」への書き込みのお願い (おかげさまで ver2)

皆さんの意見や書き込みを参考に改訂していきますので、各医療機関の対応状況（良かった、サイテーとか）・トラブル等を記載お願いします。また非公開情報を一部含みますので、院内医療従事者以外の閲覧や院外持ち出しを禁止します。各医療機関の受け入れ状況は流動的ですので、ご注意ください。事実と異なる記載・番号間違い等は医療支援センター（2191）またはMSW 松本（7171）・Ns 野口（7350）・Dr 唐渡（7008）に声かけ・クジラメール頂ければ幸いです。

		江東区西北部	東陽・白河・木場・富岡 門前仲町・塩浜	電話	FAX	
○▽補		竹内小児科医院	扇橋2-1-3	03-5606-0303	03-5606-0325	
○▽補	a	小林内科クリニック	扇橋2-17-5	03-3699-5884		
○	a	青木医院	千石2-8-10	03-3644-5456	青木久恭	24の会
○		とのうち耳鼻科クリニック	東陽2-3-1	03-5683-4970	03-5683-4970	
☆	A	クリニック東陽町	東陽2-4-26	03-3615-5547	岡田克郎	24の会
○▽		服部医院	東陽3-1-7	03-3644-4756		
○▽補		永田医院	東陽3-18-4	03-3644-4559	永田慶一	24の会
○▽補		太陽ビルクリニック	東陽3-23-6	03-5635-5715	03-5635-5716	
○補	a	森崎医院	東陽4-10-12	03-3645-1493	03-3645-1541	
○▽補	A	本池内科クリニック	白河1-6-15	03-3642-0171	03-3642-6852	
○▽補	a	清澄白河ファミリーCL	白河3-4-3	03-5646-5060		
○補		しらかわ耳鼻咽喉科CL	白河3-4-3	03-5245-3387	03-5245-3389	
▽		扇橋診療所	白河4-7-2	03-3630-1631		(健和会)
○▽▽補		深川クリニック	三好2-15-10	03-3630-0003	03-3820-3410	
○☆☆補	a	鈴木医院	三好3-8-4	03-3641-7767	鈴木正徳	24の会
○	a	ウエルネス木場公園CL	平野3-2-13	03-5245-7136		
○▽補		清澄内科	清澄3-6-9	03-3643-1445		
○▽補		浜本医院	深川1-5-3	03-3641-6615	03-3641-6618	
○▽		魚住整形外科	永代2-34-10	03-3643-0015		
☆○	A	永代クリニック	永代2-37-22	03-3641-3055	久松要雅	24の会(主宰)
○補		深川ギャザリアCL	木場1-5-25	03-5653-3500	03-5653-3504	
◎		東峯婦人クリニック	木場5-3-7	03-3630-0303		
◎☆☆補	A	鈴木クリニック	木場5-4-11	03-3820-5005	03-3820-5009	
○▽補	A	浅川医院	木場6-9-8	03-3649-7061	03-3645-5212	
○▽補		もんなか整形外科	越中島2-14-10	03-3630-3001	03-3630-3002	
▽		吉田まゆみ内科	古石場2-14-1	03-5646-8080	03-5646-2300	
◎▽補		斉藤医院	富岡1-2-1	03-3643-6595	03-3643-6595	
○		船山内科	富岡1-5-1	03-3630-1056	03-3630-1064	
○▽補		金桜(きんおう)堂医院	富岡1-22-28	03-3641-5434	03-3641-5492	
◎▽補	A	とみおか医院	富岡2-2-6	03-3642-7757	野元成郎	24の会
○補		ブラザ門前仲町クリニック	門前仲町1-4-8	03-3643-9500		
○▽補		小松崎医院	門前仲町2-2-14	03-3641-1387	03-3641-1417	
○▽補		尾関皮膚泌尿器科	門前仲町2-6-2	03-3630-1241	03-3630-1241	
☆		野崎クリニック	門前仲町2-11-8	03-5621-5026	03-5621-5027	
○		ゆき耳鼻咽喉科CL	塩浜2-5-23	03-3647-3311	03-3647-3311	
		深川立川病院	扇橋2-2-3	03-3645-2101	03-3645-2102	救般
	A	木場病院	木場5-8-7	03-3642-0032		救般
		くじらホスピタル(心療専門)	枝川3-8-25	03-5634-1123	03-5634-1124	
○	A	すずき病院	塩浜2-7-3	03-5617-5617	03-5617-5618	救般
○	A	すずきリハビリ病院	枝川3-8-13	03-5617-5622	03-5617-5688	
		江東区西南部	豊洲・東雲・潮見			
○▽補		辰巳共立診療所	辰巳1-2-9	03-3521-3090	03-3521-3090	
○▽補	A	プライヴケア・ファミリーCL	豊洲5-1-1	03-3533-9199		
○補		とよす整形外科・耳鼻咽喉科	豊洲4-9-13	03-3533-8555	03-3533-8551	
○▽補		すずかけ内科クリニック	豊洲4-10-18	03-6211-0833	03-6221-0834	
▽		東雲クリニック	東雲1-8-17	03-3533-3731	03-3533-3731	
○補		しのめ耳鼻科クリニック	東雲1-9-16	03-3536-8341	03-3536-8341	
○補		池下レディースCL東雲	東雲2-1-21	03-3528-4103	03-3528-4104	
○▽補		TFTビルクリニック	有明3-1 TFTビル3F	03-5530-3020	03-5530-3027	
○		あさひクリニック	潮見1-10-3	03-3644-2723		
○補	a	オビ内科クリニック	潮見2-1-10	03-5665-6770		
◎補	a	潮見クリニック	潮見2-7-1	03-5634-8171	03-5634-8172	
○		昭和大豊洲病院	豊洲4-1-18	03-3534-1151	03-3534-1170	救般

緩和ケアにおけるペインコントロール





国際化への対応

- ・インターナショナルセンター
- ・韓国、中国、その他のアジア諸国
- ・欧米がん専門病院

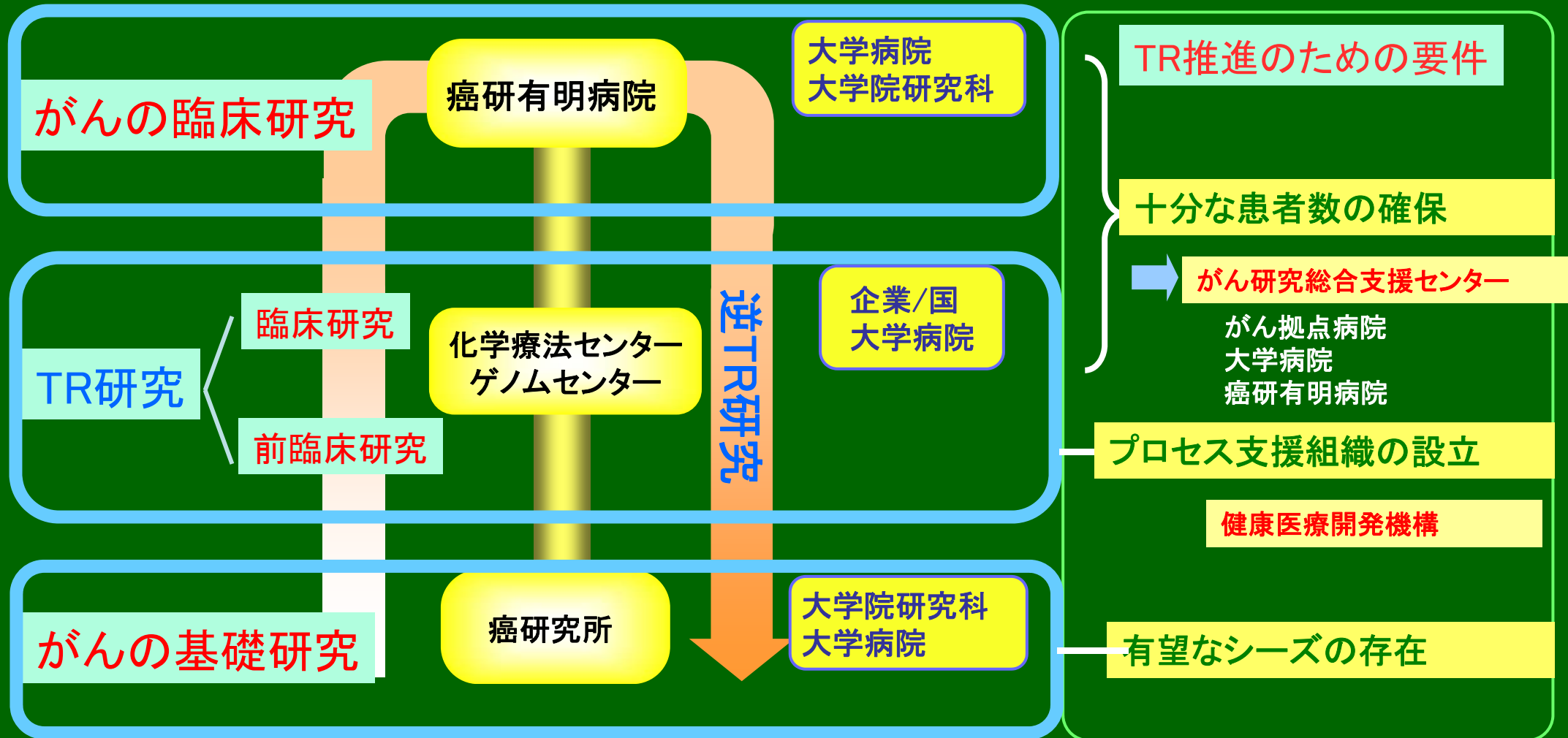
対応記録:企画部インターナショナルセンター

1. 海外からの見学訪問者(2007年1月～2007年9月)

合計16回(8カ国):東アジア11回、アフリカ1回、中央アジア1回、ロシア1回、欧州1回、北米1回

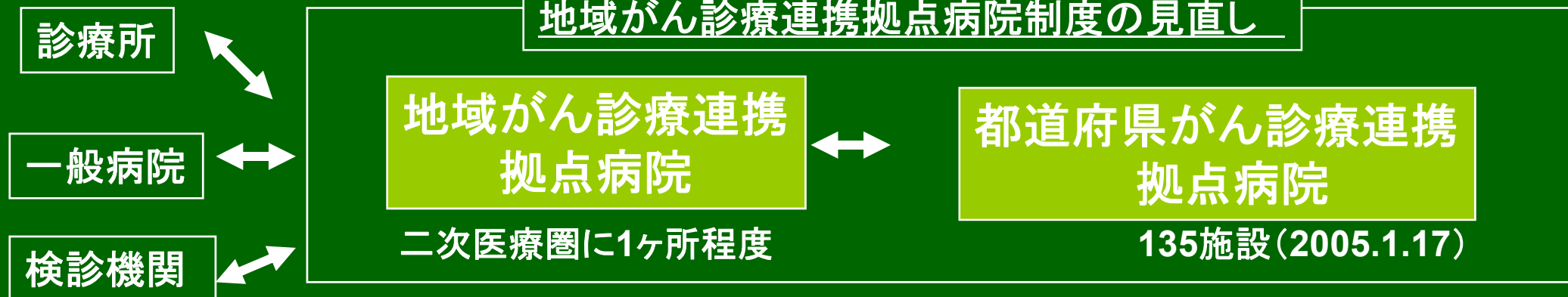
	日付	国名	団体名	対応者
1	1月26日(金)	モロッコ	モロッコ王国保健省一行	山下副院長
2	2月7日(水)	カザフスタン	カザフスタン放射線学会会長一行	武藤病院長
3	2月8日(木)	韓国	韓国江北サムソン病院一行	星野部長代行
4	2月9日(金)	韓国	大邱保健大学一行	武藤病院長
5	2月15日(木)	台湾	国立台湾大学付属病院一行	武藤病院長
6	3月9日(金)	韓国	カソリック医療院 一行	山下副院長
7	3月22日(木)	イタリア	サノフィ・アベンティス(株)一行	中島顧問
8	3月30日(金)	韓国	Daejon Sun Hospital病院長一行	武藤病院長
9	4月23日(月)	韓国	Asan Medical Center	ボランティア岩瀬
10	5月11日(金)	韓国	Pundarg Jesaeng General Hospital	情報システム室
11	5月16日(水)	ロシア	ロシア保健省消毒研究所所長一行	日本ステリ佐久間
12	6月2日(土)	アメリカ、他	ICN学術集会参加者一行	武藤病院長
13	6月8日(金)	中国	浙江医大内視鏡センター婦長	神田副師長
14	6月19日(火)	韓国	ソウル大学病院購買・物流部門一行	児嶋課長
15	7月6日(金)	中国	重慶市三峡中心病院一行	鈴木課長
16	9月6日(木)	韓国	ソウル大学・釜山大学・京上大学病院	武藤病院長

がんの臨床研究・TR研究推進システム



がん専門医療機関の役割分担イメージ

地域がん診療連携拠点病院制度の見直し



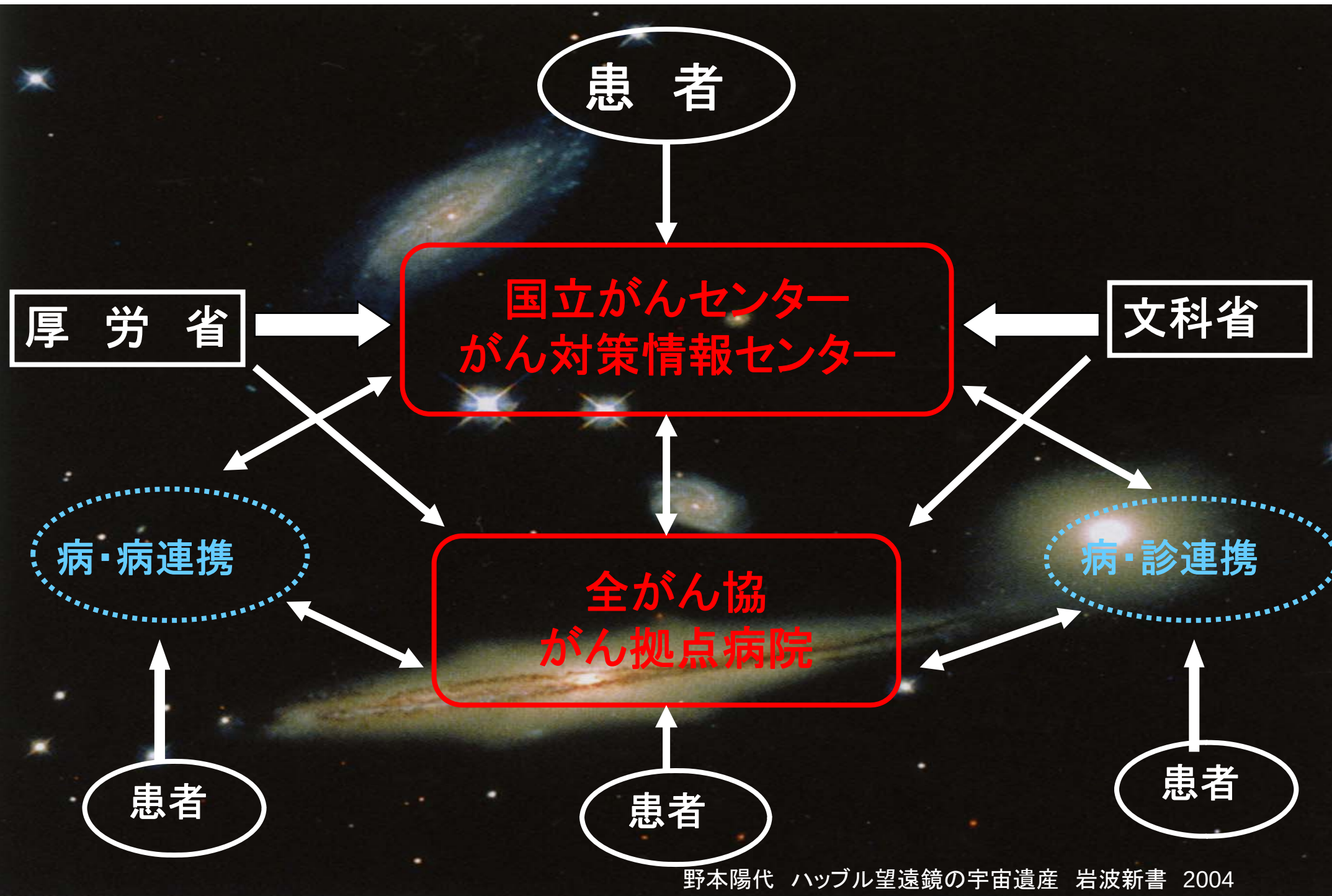
地域がん診療連携拠点病院の機能

1. 我が国に多いがん(肺、胃、肝、大腸、乳など)の**早期診断・治療に重点**
2. 地域の医療機関からの紹介患者の受け入れ及び緩和医療の提供
3. 地域のがん医療従事者に対する教育・研修の実施
4. 臨床試験に協力(例えば第Ⅲ相試験)
5. 標準様式に基く院内がん登録の実施

都道府県がん診療連携拠点病院(仮称)の機能

1. 我が国に多いがん(肺、胃、肝、大腸、乳など)の**進行期の標準的治療に重点**
2. **集学的治療**の提供
3. 地域がん診療拠点病院に対する教育・研修の実施
4. 臨床試験の実施(例えば第Ⅱ/第Ⅲ相試験)
5. 標準様式に基く院内がん登録の実施

-<より機能の優れた病院>.....
1. **稀ながんの診療**、我が国に多いがんの**高度な技術**を要する治療に重点
 2. **高度先進医療**の提供に重点
 3. 都道府県がん拠点病院に対する教育・研修の実施
 4. 臨床試験の実施(例えば第Ⅱ/第Ⅲ相試験)
 5. 標準様式に基く院内がん登録の実施



がん拠点病院 成功の要因

- 拠点病院の使命感と覚悟
がん難民をなくす
持ち出し覚悟
- 医師とくに外科医の認識と自覚
- 院長のリーダーシップ

外科医の役割が重要

- がん医療における病院の役割・使命は何か？
- 使命感と覚悟
- 各科のエゴ排除
- 主治医制からチーム医療制へ
- 患者の教育
- 医療関係者、患者、行政それぞれに覚悟が必要
- システムとお金

“やりたいことをやる”

のではなく

“やらねばならぬことをやる”

覚悟が必要

日本学術会議による「3つの要望」

(1) 医療費抑制政策の転換

わが国の医療の崩壊を食い止めるため、従来の厳しい医療費抑制政策を速やかに見直し、他の先進諸国と同様な水準の資源投入を行うようにすること

(2) 病院医療の抜本的な改革

特に危機的状況にある病院医療について、実働医師の不足対策を中心とした抜本的な改革の検討を速やかに開始し、3年以内に実施すること

(3) 専門医制度認証委員会の設置

専門医制度を根本的に見直し、新しい制度を確立するために、「専門医制度認証委員会」(仮称)の設置を速やかに実現し、10年以内に新しい専門医制度の体制準備を完了すること

信頼に支えられた医療の実現のために

日本学術会議要望より

健康な生活は、すべての人間に保障された権利である

- ・ 国民として考えること

医療の現状(医療は崩壊の危機に直面している、医療の提供には費用がかかる)を認識すること、医療には避けがたいリスクがあり、完全なものではないこと、医療は無制限に利用できるサービスではないこと、患者側にも一定の責任があることを理解すること

- ・ 政府・行政として考えること

医療危機の現場は病院であること、医療費抑制政策を根本的に転換すること、地域の実情を踏まえた政策への変更

- ・ 医療者として考えること

医療の質とその透明性の保証を医師自らが行うこと、専門医の育成、生涯教育など厳密に管理する組織を作ること、必要な専門医の地域適正配置と地域別専門医育成プログラムの仕組みをつくること

平成21年度がん対策関係予算案

追加配布資料

がん対策予算(3省) **524億円(545億円)**

厚生労働省 237億円(236億円)
文部科学省 186億円(203億円)
経済産業省 102億円(106億円)

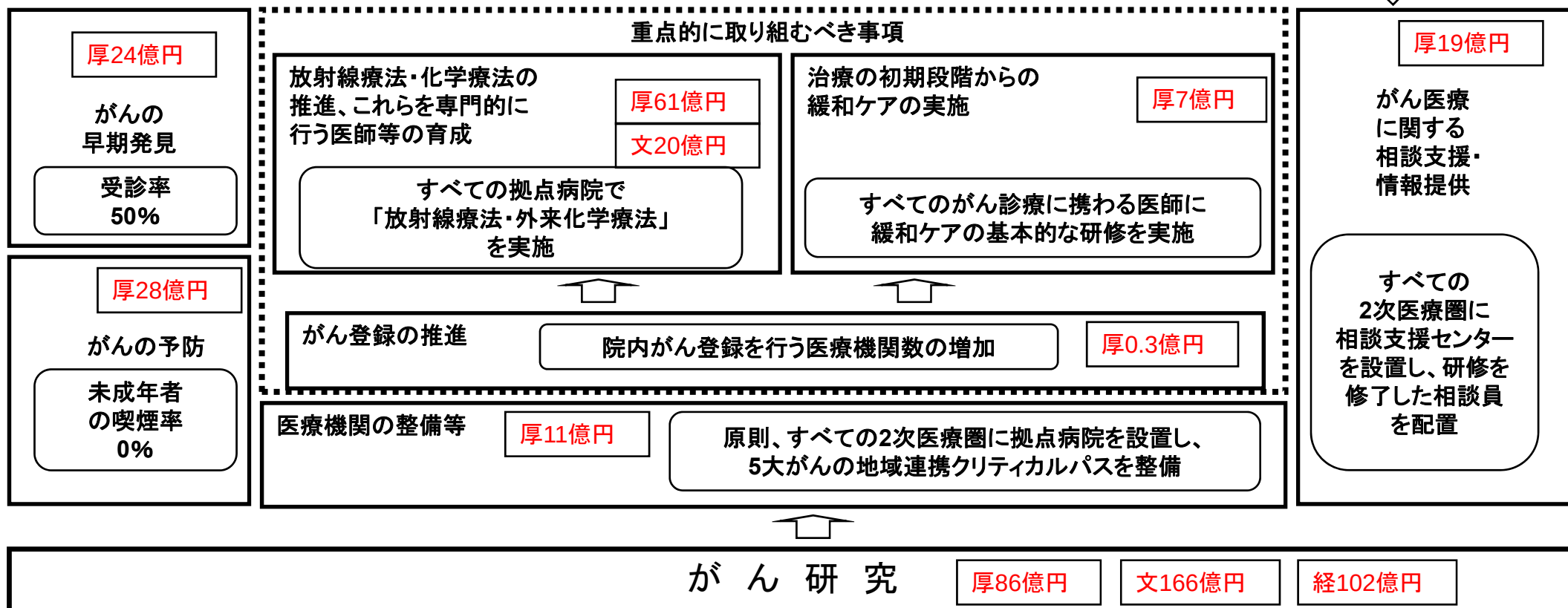
※カッコ書きは平成20年度予算額

がん対策推進基本計画

全ての患者・家族の安心

がんによる死亡者の減少
(20%減)

全てのがん患者・家族の
苦痛の軽減・療養生活の質の向上



※ がん検診事業(地方交付税措置) **1,300億円程度** (平成20年度措置額約649億円)

問題点

- ・“難治がん”にどれだけ金を使うか？使えるか？
- ・“自由経済体制”の中の完全な“統制経済体制”
技術の差を認めない世界唯一の体制
- ・過剰な医療バッシング → 医師・患者間の
信頼感の消失
- ・医療崩壊